

平成30年10月31日



学校だより 11月号

～学び合い 認め合い 笑顔輝く 都田西っ子～

横浜市立都田西小学校

学校長 大嶋 照美

【 TEL 045-933-7652 FAX 045-937-0964 】

かわいい子には旅をさせよ

副校長 安東 光

木々の葉が色づき、落ち葉の舞い散る季節となりました。

10月20日(土)に行われた運動会では、たくさんの保護者、地域の皆様に温かいご声援とご協力をいただき、ありがとうございました。

この運動会に向けて、それぞれの演技や競技の練習、係の準備に全校児童、職員は、一丸となって一生懸命に励んできました。練習の様子を職員室の窓から見ていると、初めはうまくできなかつた動きも練習を重ねるごとに上手になり、どの学年の演技にも子どもたちの大きな成長を感じることができました。運動会本番では、たくさんの保護者、地域の皆様の前でその成果を披露することができたことと思います。ご覧になっていただいた皆様には、それぞれの演技や競技、係の仕事、運営、応援など様々な場面で都田西小の子どもたちと教職員の「力」を感じていただけたのではないのでしょうか。

運動会アンケートをお配りしています。皆様の忌憚のないご意見、ご感想は、努力を重ねた子どもたちや、指導、準備をしてきた教職員の励みとなり、今後のさらなる改善につながります。アンケートへのご協力よろしくお願い致します。

江戸時代からの故事ことわざに「かわいい子には旅をさせよ」という言葉があります。現代の「旅」のイメージは、その土地ならではの観光名所を訪ねたり、美しい景色を眺めたり、おいしいごちそうを食べたりして日常か

ら離れ、楽しい体験をして心を豊かにするものですが、交通手段の発達していない江戸時代の旅は、楽しむよりもむしろ様々な苦労や困難を耐えぬくものだったようです。

我が子を一人前に育てるには、親元において甘やかすのでは無く、外の世界に身をおいて様々な苦労や困難を経験させた方が良いという考えを表した言葉で、時代が変わっても子育てをする大人の心構えとして大切にしていかなければいけないものだと思います。

かわいい我が子には、苦労をさせたくない。つらい経験をさせたくない。大きな失敗をさせたくない。と思いつい過保護になってしまうのが私自身も含めた今の時代の親心ですが、大きな変化の予想される未来をたくましく豊かに生きていく力を子どもたちに育てていくために子どものうちにたくさんの「旅」を経験させることが大切なのかもしれません。

様々な個性や考え方もった児童や教師と関わる日々の学校生活も子どもたちが将来豊かに生きていく力を育む「旅」の場です。しかし、学校は、苦労や困難ばかりを経験する場ではなく、先日の運動会のように互いの個性や良さを認め合い、高め合い、楽しさや喜び、達成感、感動をたくさん共有できる場でもあります。

子どもたちがこれからの長い人生で経験する様々な課題を自分たちの力でしっかりと乗り越えられるように私たち教職員や保護者、地域の皆様が協力して子どもたちの「旅」をしっかりとサポートできる学校・家庭・地域でありたいと思います。